

令和元年度 第1回進路対策委員会 議事録

日 時 令和元年7月27日(土) 16:00～16:50  
会 場 A N Aクラウンプラザホテル札幌 26階 トップ  
出席者 6名／8名

※代理出席 北川能貴日高支部事務局長(石山英範の代理)  
※事務局 井村美彦

欠席者 2名(若林利行、山木傑)

□開会挨拶 虎野温委員長

□議 長 虎野温委員長

□議事録確認

平成30年度第3回進路対策委員会議事録により確認

□会則細則確認(北海道高等学校PTA連合会会則施行細則第27条)

会則施行細則第27条に定める進路対策委員会の所掌業務を確認した。

□全国高P連第1回進路対策委員会の報告

森政徒副会長(全国高P連進路対策委員)

第9回高校生と保護者の進路に関する意識調査の実施について説明した。

□議 事

1 副委員長選任

宮崎忍(道南支部長)

2 平成30年度の進路対策委員会関係の活動

(1) 平成31年3月高等学校卒業予定者の雇用促進及び高校生インターンシップ等の協力要請を、10月17日に新井田寛会長・山本明敏高校教育課長が関係団体を訪問して実施した。令和元年度からは教育局・校長会とともに支部単位でも実施する。

(2) 各学校における進路対策の活動に関する意見交流から

- ・ 卒業生やPTAが行う職業講話、ファイナンシャルプランナーによる進学の際の資金計画の説明や助言、PTAによる就職希望生徒への面接指導などの実践について情報交換を行った。
- ・ インターンシップは実際の仕事の中身よりも、仕事に当たる姿勢をはじめとして職業観や勤労観を身につける上で効果があるので、さらに、より効果的な実施方法を検討することが必要であるとの結論に至った。

3 令和元年度の進路対策事業の計画

- ・ 令和2年3月高等学校卒業予定者の雇用促進及び高校生インターンシップ等の協力を各支部の経済団体に要請を行う
- ・ 単Pの進路対策に関する優れた事例を収集し、全道に紹介する

4 「進路対策」関係の活動に関する意見交流

- ・ 道教委主催のマッチングツアーは各業界への理解を深めるとともに生徒の職業観や勤労観の養成に効果的であることから、PTAも含め積極的に参加すべきである。
- ・ 進路に関する親子のコミュニケーションでは父親よりも母親との機会が多いが、働くことの意義などについては父親が活躍できる場面として捉えるべきである。
- ・ 学校では進路に関する三者面談が実施されているが、単に進路決定を促すのではなく、事前に親子で進路を考える上で必要な事項や相談の観点などを示すことが必要となるのではないかな。
- ・ 学校で身につけた技能や資格は職業遂行上の必要ではあるが、同僚とともに仕事をする上で前提となるコミュニケーション能力などの汎用的な力を付けていくことが必要ではないかな。早期離職の防止でもこのことは重要である。

□委員長挨拶 虎野温委員長

□閉 会

令和元年7月30日

議 長(委員長)

印